



2016 年 11 月

第257号

The Service Club of The YMCA

東京八王子 ワイズメンズクラブ

会 長 中塚 辰生
副会長 小口 多津子 多河 敏子
書 記 久保田 貞視 小口 多津子
会 計 長谷川 あや子
林外会長 並木 雍子
担当主事 中里 敦
ブリテン 山本 英次・茂木 稔
大久保 清 多河 敏子
直前会長 長谷川 あや子

国際会長主題 Joan Wilson (カナダ) 「私たちの未来は、今日より始まる」
スローガン: 「手を取り合えば、もっと多くのことができる」
アジア地域会長主題 Tung Ming Hsiao (台湾) 「ワイズ運動を尊重しよう」
スローガン: 「よりよい世界のために、ワイズメン・ファミリーの絆を強めよう」
東日本区理事主題 利根川 恵子 (川越) 「明日に向かって、今日動こう」
スローガン: 「手を取り合って、今、行動を！」
あずさ部部長主題 浅羽 俊一郎 「あずさ部は財物の宝庫。もっと活かそうぜ！」
クラブ会長主題 中塚 辰生 「クラブ活性化に全員が一歩前進」

2016年11月 第一例会

(あずさ部・浅羽部長公式訪問)

担当C班: 福田、多河、橋本、佐藤、望月

日時: 11月12日 (土) 18:00~20:00

場所: 北野町会館 (東京都八王子市北野町550-2)

受付: 大久保、福田

司会: 多河

開会点鐘	会 長
ワイズソング	一 同
ワイズの信条	一 同
ゲスト・ビジターの紹介	会 長
聖書朗読・食前感謝	福 田
会食	一 同

卓話 「あずさ部・浅羽部長講話」

あずさ部・部長: 浅羽俊一郎氏

スマイル	大久保
報告・連絡事項	会長・担当者
YMCA報告	担当主事
スマイル金額報告	大久保
Happy Birthday	会 長
閉会点鐘	会 長

巻頭言

「人に働きかける」

あずさ部 部長 浅羽 俊一郎

若い頃、ある牧師が礼拝の説教の中で福祉の原点は「人への愛、せめて人への関心」だと語った言葉がその後ずうっと心に残っていました。そして私はYMCAや難民支援事業で人と接する現場を経験しましたが、それを通して「人への関心」を大切な視点にしてきました。たとえば「どう人に働きかけたらいいか?」「何故人は他人に惹かれるのか?」「人を嫌いにしない方法はあるのか?」こんな事に関心があるのです。今の社会は無関心が大人から子どもへ、地域から家庭まで広がっているようです。人を観る目が養われていないようです。が、世の中の多くの問題も人への関心無しには解決が見つからないような気がします。

先月の例会ポイント (9月)		BF ポイント	
在籍	18名	切手 (国内・海外)	165g
メン	11名	累計	515g
メイキャップ	0名	現金	0円
出席率	61%	累計	0円
メネット	2名	スマイル	6,930円
ゲスト	1名	累計	21,562円
ビジター	1名		
ひつじぐも	11名	オークション	0円
		累計	0円

(聖 句)

「イスラエルの人々に告げなさい。第七の月の十五日から主のために七日間の仮庵祭が始まる。七日の間、燃やして主にささげる物をささげ続ける。八日目には聖なる集会を開き、燃やして主にささげる物をささげる。これは聖なる集まりである。あなたたちはいかなる仕事もしてはならない。あなたたちは七日の間、仮庵に住まねばならない。イスラエルの土地に生まれた者はすべて仮庵に住まねばならない。」
(レビ記23章34節、36節42節)

私がYMCAに期待するのは、まさにこの点です。人への関心を持つきっかけを提供してくれることです。今のYMCAは事業中心ですが、ほとんどの事業が競争に晒され、不利な立場にあります。YMCAが事業中心であるかぎり地域社会からは弱い団体としか見えないでしょう。他団体には無い魅力・価値観を掘り起こし、それを補強し、提供するということを考える必要があります。私はそれが「人に働きかける力」だと思っています。YMCAは教育・福祉・野外・ホテルなど多くの事業を展開していますが、その中心にあるのは個人への働きかけを通じて家庭・地域・社会を変えていく運動です。個人をどれだけ大切に育てられるか、それこそYMCAの会員職員一人ひとりの課題だと思います。

そのための仕掛けが諸事業であり、サークルであり、ロビー活動やキャンプでしょう。もちろん各活動とも達成すべき目標があるでしょうし、そのためのトレーニングを疎かに出来ない。しかし、本当に大切なのは人との関わりを通して変えられることでしょう。

このことを意識してどう実践するかが問題ですが、こればかりはトレーニングや研修だけでは身につかない。日頃から周囲の人に目を向け、人を観る目を養い、人に働きかけることを時間をかけて学ぶしか無いのです。たまに職員に受付窓口での対応について聞きます。始めての人に事務的に答えるだけなのか、それとも相手に関心を示し、いずれYMCA会員になることを期待して向き合うのか。窓口で人はYMCAの第1印象を持ちます、と。

キャンプのメンバーが自分は将来リーダーになると決めた時、それは自分達に働きかけるリーダーの姿に惹かれたのです。そこにYMCAがあるのです。

第20回あずさ部会に出席して

小口多津子

10月22日(土)水道橋の在日韓国YMCAアジア青少年センターで、第20回あずさ部会が持たれました。八王子クラブからは、中塚会長、長谷川さん、久保田さん、小口の4人で出席しました。東西日本区が二つに分かれて20年を迎えたその節目の記念になりました。浅羽俊一郎部長の東京山手クラブがホスト、参加者は72名でした。

部会の理事祝辞での利根川恵子東日本区理事のご挨拶は、東日本区は現在のメンバー数が951名で、7月の東京多摩みなみクラブの設立が嬉しいスタートであったこと、目標1000名を全員の目標にしたい。今、進められている「東日本区定款改定案」の課題もその1000名に向けたものであること。また、来年2月4、5日と計画されている、第2回東西日本区交流会(at 東山荘)に大勢で集まって大いに語り、リクリエーションを楽しもう。この交流会もまた東西区20年を迎える節目行事であること、第1回は10年目の2005年でした。今回のこの為の募金としてワイズ基金に50万円を目標に募集していますと話された。

壇上から一人一人の顔を見ながらの語りは惹きつけられる

ものがありました。

第2部は同じホールで記念講演を聞きました。講師は恵泉女学園大学名誉教授の蓮見博昭氏。演題は「アメリカ大統領選挙の最終章と日本」でした。

まさに選挙戦たけなわの話題。このブリテンが発行される時はもう決定しているかも知れませんが、蓮見氏の話の中心は、この時点でやや優勢とみた民主党のヒラリー氏が選ばれたらどうなるのかというお話は興味を引きました。ヒラリークリントン氏は選ばれたら、約半数を占めるトランプ氏の支持者をも受け入れる必要があるため、トランプ氏の政策を一部でも取り入れることになる。そうするとTPP問題がトランプ氏側に傾かざるを得なくなり、予想すると推進派のヒラリー氏としてはTPPを逆に中止をせざるを得なくなるのではないかとという深刻な話。また今の世界において、アメリカでは女性大統領が今まで出現しなかったことは何故かを、アメリカにおける女性事情の裏話などもご自身の体験を交えて興味深いお話でした。

第3部の懇親会は9階のホールで、懐かしい日本韓国Yご自慢の韓国料理のバイキングを楽しみました。各クラブのアピール、来年6月の川越での区大会のアピール、続いてあずさ部有志の合唱団が、もみじ、花の街などの歌声が会場に響きました。全クラブからできた合唱団は、これまでにない新鮮なものでした。



あずさ部有志の合唱団



あずさ部会 在日韓国YMCAアジア青少年センター

中大ナイトを開催して

3年 佐藤克彦

「八王子ワイズメンズクラブ10月例会中央大学ナイト」が10月8日にありました。早いもので、私が学部1年生だった時から始まる中大ナイトは、今年で第3回目を迎えることになりました。今年現ワイズ係の佐藤千紘を始め、みんなで10月例会を作り上げることができたと思っています。

卓話は今年台湾で行われたIYC (International Youth Convocation) の活動報告でした。IYCに参加したのは学部2年の須郷利貴、佐宗伶子です。二人はIYCに参加するために相当な事前準備をこなし、活動中も楽しそうな写真を私たちに送ってくれていたのも、私自身今回の二人の活動報告を楽しみにしていました。今回二人の卓話を聞き、私が興味を持ったことは2点あります。

1つは『自分がどう感じているか、どうしたいか』を的確に伝えることの大切さです。皆それぞれ考えていることはたくさんあると思います。しかし、その考えを表に出せる人と、遠慮して表に出せない人がいます。その差は大きい。日本人は場の空気を読み、発言をしないと世界を知る人は口をそろえて言います。しかし、自分の考えを外に発信できる人と、自身の内部で完結させてしまう人とは成長の伸びが段違いです。「聞くは一時の恥、聞かぬは一生の恥」という諺もありますが、アクションを起こすか、自己内で完結させるのかでその人の人間としての伸びしろはけた違いです。是非、自分の思いを自分の中に留めておかず、外に発信し成長をしてほしいと思います。

2つ目は、YMCAとワイズメンズクラブが協働し活動することは、世界的稀有なケースであることです。八王子ワイズメンズクラブが創立されてから20年以上の月日が経ちますが、中央大学YMCAとのつながりは早くからあったと聞いています。毎年新歓の草刈り BBQ や、3月のチャリティーコンサート、街頭募金、毎回の例会への出席など、多くの時間を八王子ワイズメンズクラブと中央大学YMCAは共に過ごします。このような蜜月関係は世界各国でも珍しいケースのようです。だからこそ、このYMCAとワイズメンズクラブの協働性を私たちのクラブの強みと考えるべきではないでしょうか。YMCAとワイズメンズクラブの繋がりモデルケースとして世界に発信できたらと思います。

今回は貴重な機会を中央大学YMCAに賜りまして、ありがとうございました。これからも善き関係を継続できたら良いと思っています。



就活：「焦らず自分のペースを大切に」

4年 井上 なるみ

先日久々に八王子クラブの例会に参加させて頂きました。「4年の井上です」と挨拶すると、「もう4年生か…」という皆様の声が聞こえました。ワイズ係として八王子クラブの皆様にお世話になったのは大学2年生のとき。それからもう2年が経ちました。

大学生の悩み事と言えば、学校の単位、サークル、バイト、恋愛、そして【就活】でしょう。私も今年の前半は就職活動に専念していました。4月5月は私服よりもスーツを着ている日の方が多かったです。様々な業界の企業説明会に参加しました。友人や先輩とたまにご飯に行けば、「不安」と愚痴をこぼし、お酒を飲んで笑って誤魔化す時期もありました。6月下旬には内定をもらい就活を終わらせる友人も増えてきました。私もいくつか内定を頂いていましたが、どうしてもその企業で働く自分を想像できず、7月に入ってからも他企業の面接を続けていました。と同時に、残りわずかの学生生活を楽しんで過ごしたいという気持ちも高まっていました。幼い頃から続けているダンス、大学での学び、家族や友人や大切な人と過ごす瞬間を大切にしよう決めました。7月下旬、ここだと思える企業に出会い、8月に入ってから内定を頂きました。観光に関する雑誌やイベントを企画する広告会社です。

就活生の中には何十・何百社の企業にエントリーして面接を受けている人もたくさんいます。その結果自分の希望が叶う人もいれば、一方で、内定をとることだけに一生懸命になる人もいます。どちらが良い悪いとは言えませんが、後輩たちには「焦らず自分のペースを大切に」と伝えたいです。

長い人生からすれば大学の4年間はほんの短い期間。でも私はこの4年間に会った人やYMCAの活動は一生の宝だと素直に思います。悩み、迷い、投げ出しそうになった時もちろんありますが、この4年間を無駄だったと思ったことは一度もないです。お世話になった全ての方々へ心より感謝申し上げます。



八王子ワイズ10月例会 (中大ナイト)

10月の他クラブ訪問記

久保田貞視

○東京サンライズクラブ

10月13日の10月第一例会に出席しました。開会点鐘、ワイズソングの後、卓話は富士五湖クラブの小池ワイズの「棒歩きの勧め」。棒歩き・ノルデックウォークはノールウェイより導入されたもので日本には多くの団体がある。日本ウォーキング協会、日本ノールウェイ連盟、ポールウォーキング協会、全日本ノルデックウォーク連盟、日本ノルデックフィットネス協会など。

健康維持が目的ですが、各団体とも介護、老人福祉、医療の観点より見直され、膝の圧力軽減による膝痛の治療、姿勢の矯正その他の効力があり、種々の医療関係者が携わっているようです。したがって、ポールや型が団体でまちまちで、小池ワイズは10本のポールを持ち、各団体の競技に参加されています。

富士山ガイドの駒ちゃん（駒山さん）もアシスタントで出席され、参加者全員、小池ワイズ、駒ちゃんと一緒に歩き方を実践しました。

その後恒例のワインとパンでの懇親。引き続いてニコニコは必ず、箱を回し、コインを入れてから1人1人が一言、話をするようになっており、我がクラブもニコニコのやり方を検討する要ありと思いました。

○東京西クラブ10月例会

10月20日の10月例会に長谷川ワイズと出席しました。

卓話は、日本フィルハーモニー交響楽団の元ピオラ奏者山下進三さんの「オーケストラおもしろおかし話」郡山で育ち、小学校4年の時、わんぱく小僧のため、先生から真面目に何かに取り組むようにとバイオリンを勧められた。バイオリンはその後も続け、大学入試ではバイオリン希望者は優秀な女性が多いが、男性は二人だけで入学許可が下り、ピオラも学び、運よく日本フィルハーモニー交響楽団に入団、ピオラ奏者として定年まで演奏活動を続けた。もともと指揮者になりたかったので自ら研究し、今は指揮者としても活躍されています。

演奏活動での醍醐味は、指揮者の下、各奏者・各楽器が一つとなり演奏ができた時そして奏者とお客が一体となった時です。そしてお客に育てられることです。日本フィルハーモニー交響楽団の演奏回数は年間150回で、練習日を入れると年中休みがない由。給料が安いので労働組合を結成し、賃金交渉のため、演奏者の給料を開示したら全員同額だったとのこと。バイオリン仲間の本川ワイズの紹介でした。

このクラブもニコニコは箱を回し、一人一言を常としていた。

高尾わくわくヴィレッジ便り11月号

佐藤信也

11月に入り高尾の森わくわくヴィレッジは木々少しづつ色づいてまいりました。さらに加えて朝晩は寒い日が続くようになって来ましたので、皆様もどうぞお身体をご自愛頂きお過ごし下さい。

さて、11月3日にTWVでは第11回わくわくフェスティバルが開催され約2,200名を越える来場者がありました。文化祭的なイメージの強いフェスティバルで八王子地域団体と連携し様々な催し物が開催される中、今年は新たに高尾の地元で活動され2団体（セブン・イレブン記念財団『森の工作ひろば』・瀬沼木材(株)『木工教室』）が新たに加わりフェスティバルを盛り上げて頂きました。ご参加頂きました皆様ありがとうございます。

また、ワイズガーデンでは皇帝ダリアがそろそろ開花時期を迎えるほど大きく成長し背丈も3m位となりました。綺麗な花を見る事が待ち遠しくスタッフ一同大変楽しみにしています。今後のガーデン作業は雨が降らなければ11月18日金曜日10時30分からを予定しています。これからも楽しんでワイズガーデンの作業も進めて参りたいと思います。ご協力を宜しくお願い致します。

最後に、高尾地域はこれから紅葉を向かえ登山を楽しむ方々が多くなります。健康を維持する為に自然の中で楽しんで足腰を鍛える事がこれからのワイズライフを楽しむ秘訣のひとつになるのではないかと思います。高尾山や陣馬山の自然を満喫しにいらっしやいませんか。是非その際にTWVへお立ち寄り下さい。お待ちしております。



中大・学Y便り

ワイズ例会に参加して

1年 小松由菜

10月のワイズ例会は中大ナイトということで、「台北国際ユースコンボケーション (IYC) 体験報告」を聞きました。IYCは以前から興味があったので、実際に参加した先輩方の体験談を聞きたいと思い、参加しました。

IYCとは世界中のユースたちが一堂に会して、7日間で様々な議題を英語でディスカッションをしたり、文化交流をして共に過ごすプログラムです。今回、話を聞いて2つのことの重要さに気づきました。

まずはじめは、英語力についてです。世界中から様々な国の人々が集まるわけですから、話す言葉は違います。そこで皆をつなげてくれるのは英語です。現地では英語が①母国語が得意な人、②ある程度理解できる人、③まったくできない人の3グループに分かれました。日本人は2つ目のグループだったそうです。話の内容は分かるのに思うように話せない、というもどかしい思いをした時もあったそうです。私は今夏、日本YMCA 同盟主催の夏期ゼミに参加しました。そのときのディスカッションでは日本語だったのに関わらず、発言するのに必死でした。これは私が自分の意見を伝えることに苦手意識を持っているからかもしれませんが、さらに英語で発言するとなると、とても大変だと思います。何をすることも英語が必要な7日間は辛いかもしれません。しかし、とても貴重な経験だと思います。

また次に、英語力のほかにも自分の考えを簡潔にまとめて伝える力を身に着けるべきだと感じました。社会に出ても、この力は様々な場面で必要です。自分も普段から物事を多面的に見て、深く考えるようにしなければいけないと思いました。その考えたことを表現する語彙力も必要だと思います。その上で、わかりやすく話すことも意識したいです。

今回、初めてIYCの報告を聞き、自分の中でいくつかの課題が見つかりました。報告会ではとても刺激を受けました。今後もワイズ例会で様々な方の話を聞いて、自分の活動のきっかけにしていきたいです。

西東京センター便り

＜西東京YMCA便り＞

中里 敦

寒さが日に日に増してきましたが、寒いからこそ日差しの暖かさや温もりを感じることもできます。そして、クリスマスを迎える時期となり、神様をより身近に感じられる時でもあります。色々な楽しみが多い時期ですが、熊本地震から半年、まだ不安の中で生活をしている人たちも多くなります。私たちに出来ることとして、少しでも多くの方が思いを馳せることができるようにと、各活動後に子どもたちと街頭募金を行っています。(写真)

さて、秋から冬にかけては、大きなイベントが多く、10月「西東京フェスティバル」、11月「会員の集い」、12月「西東京ファミリークリスマス」が催されます。これらのイベントは、昨年までスタッフが主となり企画・立案し、実施の段階でワイズやリーダーにお手伝いをお願いしてきました。しかし、今年度からは企画・立案からワイズ、会員によるサポートチーム、リーダーたちにも加わっていただいています。数は少ないですが、それぞれ代表者を出して委員会を行い、趣旨の共有から始め、今までの内容にはこだわらずそれぞれの立場や思いからプログラム案を出し合い、決定をしていきます。そのことにより、これまで以上に『参画者』として共に創り上げている雰囲気も増し、『協同者』として今まで以上に距離が近づいたように感じます。

委員会に出席することは負担を感じるかもしれませんが。しかし、皆さんがセンターに来ることで会話が生まれ、心を寄せていただくことで、センターの雰囲気も明るく元気になり、それが色々な所にも伝わっています。地域センターはスタッフだけでなく皆さんと共に創り上げていくことで、力が生まれてくるものと改めて感じています。大きな力でもなくとも構いませんので、これからも『協同者』、『参画者』として関わっていただけますようお願い申し上げます。そして、西東京センターが皆さんにとり、心を寄せ、思いを馳せることができる場となるよう努めてまいります。

(お 話)

イスラエル暦では「第七の十五日」というのが、10月15日の夕方から始まるので、いわゆるイスラエルの三大祭りの一つである「仮庵祭り」についてのレビ記の記事を抜粋してご紹介しました。この祭りはイスラエルの人たちがエジプトを脱出し、ついに自分たちに与えられた土地に導かれるまでの苦しくも長い荒れ野の旅を想起するために命じられたお祭りです。

イスラエルではこの時期仮庵を作る材料を売る店が出来たりして、お祭り気分ですの恩恵を喜び合うのです。

イスラエルは民族の経験した様々な苦い歴史を子孫に大切に伝え続けて、その中で主の導きと恩恵を学び、自分たちの贖罪の努力を積み重ねて行っているように思います。

もう二千年ほど前に神殿を失ってしまったユダヤ教は時代と共に変化成長しているのですが、主との関係だけは変わらない祈りによって支えられて行っているのだと思います。

手作りの仮庵でお祭り気分になっている風景が平和に続くことを祈りたいと思います。

仲田 達男

報 告

10月第一例会報告

担当：B班

日時：10月8日（土）18:00~20:00

場所：北野事務所

出席者（敬称略）26名

A班：長谷川、小口、山本、中里、中塚 B班：辻、茂木、並木メン・メネット、久保田メン・メネット C班：福田、橋本（13）

ビジター：Peter Mountford（甲府）

ゲスト・津田、中大ひつじぐも：井上なるみ、佐藤克彦、牧野充幸、佐藤千紘、須郷利貴、佐宗伶子、渡邊敦、青山真歩、坂本菜美、吉田翔悟、小松由菜（例会プログラム）

会長以外は総て中大学 Y ひつじぐもの学生により執り行われた。

受付は井上なるみさんと牧野充幸さん。司会は佐藤千紘さんの名司会、中塚会長の開会点鐘に始まり、聖書購読・食前の感謝は佐藤克彦君、スマイルは渡邊敦君。

卓話は「台北国際ユースコンボケーション（IYC）体験報告」

IYC 参加者の須郷君と佐宗さんによりパワーポイントと東日本区用に須郷君が編集した報告書に基づいて報告した。IYC は8月1日に日より7日まで台北で開催され、参加国は20か国、参加者は94名。

IYC 参加者二人の報告は、プログラムに沿って報告。次に具体的な討論内容、結論・感想と約1時間の報告があり、質疑応答で爽やかな例会であった。二人とも報告の仕方について順序だっており、二人の感想も IYC での経験を踏まえて国際交流について前向きな姿勢が伺えた。

（会長よりの報告事項）

10月2日（日）第12回東京Y西東京センターフェスティバル 長谷川さん出席

10月12日（水）東京Y西東京センターリーダー感謝会 18:45開始（出席者）長谷川、小口、中塚、並木、久保田 5名

10月22日（土）第20回あずさ部部会 13:30~16:30

会場：アジア青少年センター JR 水道橋徒歩7~8分 登録費：4,000円

（出席者）長谷川、小口、中塚、久保田 4名

11月12日（土）11月第1例会（C班担当）18:00~20:00 場所：北野町会館

浅羽部長公式訪問 卓話は特になく部長よりの部長方針と意見交換

11月26日（土）18:00~20:00

第二例会 会場：北野事務所

・11月3日東京YMCA西東京センターの集い 18:00~21:00

第一部：藤田智恵泉女学園教授の講演「緑豊かな街づく

りー野菜作りで町は変わるか？」

第2部：西東京センター活動報告・ボランティアリーダースピーチ

第3部：懇親会：軽食で懇親

☆当日はペタペタの会で近隣をあるく予定あり。

☆多くの方の参加を希望します。

・IYCに参加した須郷君と佐宗さんは11月8日（火）の甲府クラブの例会でIYCの報告をする。

出席予定者は、クラブから小口さんと長谷川さん。

*BF2016年9月報告

切手：（国内）久保田 0g 海外 0g 累計515g

プルタブ 多河700g 並木 1150g 津田500g

累計2,350g

尚、先月のプルタブ集計は、久保田は4,400gでした。

* 老人デイサービスセンター鑑水*

【報告】 10月25日（火）

手工芸 14:00~15:00

参加者：赤羽、石井、色川、下重、調、多河、山口 山中、茂木

【予定】

11月17日（火）ペーパーフラワー 14:00~15:00

<西東京センター 主な行事予定>

【11月】

3日（火・祝）「ペタペタの会」及び「西東京センター会員の集い」

今回のペタペタの会は、国分寺周辺です。距離にして約4kmをのんびりと会話を楽しみながら歩きます。

夕方からは、西東京センター登録の会員の方々に西東京の活動報告や卓話など予定しています。

ワイズ、会員、リーダー、スタッフの親睦を持ちながら、つながりを作っていければと考えています。NHK趣味の園芸でもおなじみの「藤田智氏」による「緑豊かな街づくりー野菜作りで街は変わるか？」と題して講演も行われます。

【12月】

4日（日）「ファミリークリスマス会」

@東京YMCA 医療福祉専門学校

西東京センターに関わる様々な方を対象としたクリスマス会です。礼拝に加え、子どもたちやワイズによる出し物、音訳ボランティアサークル「シジュウカラ」による絵本の音読、ラッフル抽選会なども行われます。

11月の誕生祝い

中里	孝子	11月	1日
福田	勝江	11月	11日
山本	英次	11月	26日